たいよう

発行所
太洋基礎工業㈱
たいよう新聞委員会

最前線レポート

工事名
平成二九年度里上青木線
人道橋撤去（その2）工事

工事場所
埼玉県川口市大字里地内

発注者
川口市役所
（都市整備部街路事業課）

請負会社
中原建設株式会社

工事内容
仮桟橋・人道橋撤去工事
に伴う杭撤去工事
（ヒローワーク
ｋｍｉｇｈｔｙ工法）

設計数量　Ｈ型鋼杭
Ｈ―四〇〇㎜×四〇〇㎜
Ｌ＝三二ｍ×二七本

第一期工事
Ｌ＝三二ｍ×七本

第二期工事
Ｌ＝三二ｍ×六本

第三期工事
Ｌ＝三二ｍ×一四本

工事期間
平成三〇年七月二〇日～
平成三〇年一一月一日

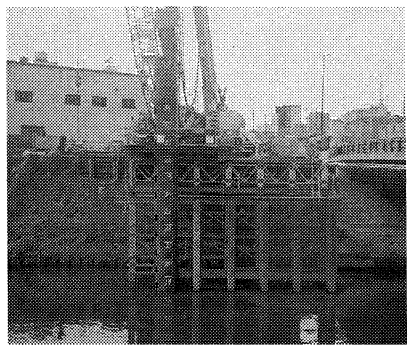
・事業目的…
埼玉県高速鉄道線の鳩ケ谷駅とＳＫＩＰシティを中心とした連携強化により新産業の復興と交通利便性を図ると共に土地利用の活性化を促す都市再生計画の目標として国道１２２号線から芝川を横断する新設橋が建築されました。本工事は新設橋を建築する際に築造された工事用桟橋を撤去して埋設杭を引き抜くものです。

・埋設杭撤去工法とは…
埋設杭を撤去する方法としては杭外周をケーシング削孔して杭上部から打撃を与えて撤去する工法などがありますが、当現場では低振動・低騒音にて引抜きを可能とするヒローワークｋｍｉｇｈｔｙ工法が採用されました。

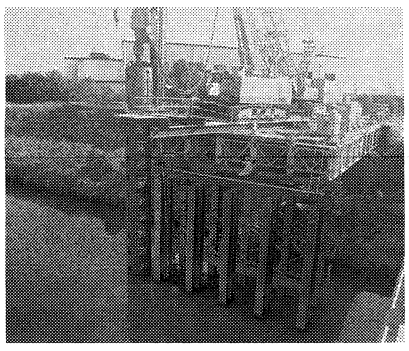
・工法の特徴…
本工法はウォータージェットを併用してケーシング削孔を行うことにより地中と一体化された既設杭を切り離すことができます。（地山と杭との摩擦をカットする）また、既設杭の外側を削孔するので杭抜機又はクレーンにて杭を鉛直方向に引っ張り上げる事が出来ます。引抜き後の杭は地中に埋設されていた状態に近い姿で撤去を可能とします。

本工法のケーシングはフレキシブルな特殊ジョイントの為、杭が多少斜めに打たれていても追従して削孔と撤去を可能とするので従来の撤去方法に比べて確実性が高く、掘削安定液を使用することも出来るので孔壁が自立することから多種多様な材料にて埋戻しすることを可能とします。

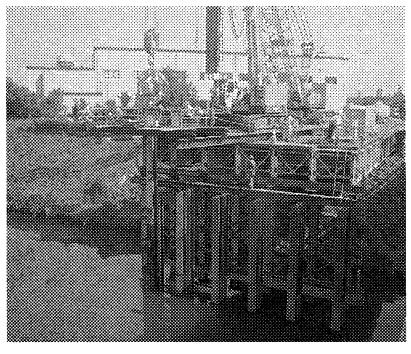
・工事内容…
工事用仮桟橋を撤去する流れとしては西側端部から東側陸上までを後退しながら撤去する計画でした。橋台下部のＨ型鋼杭Ｌ＝三二ｍを七五ｔ級杭抜機と油圧式可変超高周波バイブロの併用で杭の引抜きを実施し、上部覆工板・主桁・桁受ブレス材を二〇〇ｔクローラークレーンにて解体する作業工程を１サイクル／一期とした三期工程にて工事計画がされ、施工体制として弊社は杭引抜工事を請け負いさせて頂きました。



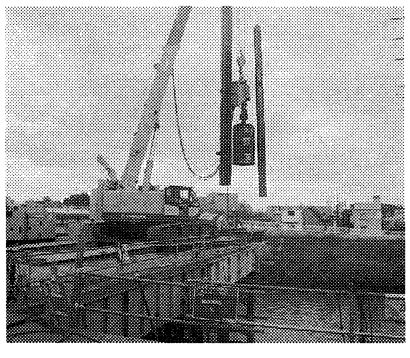
作業条件としては、覆工板を施工基面とし狭隘地で施工用地が十分ではない為に杭抜機の配置が一パターン化されてしまい引抜箇所と施工基面を完全に切り離す必要がありましたが、延長作業架台を鋼材で作成して施工基面に据え置くことでリーダー、ケーシング、杭の仮受場を確保して削孔引抜きを可能としました。また、杭の引抜き方法としては削孔完了後に実施する最初の杭の引抜き（地切り）時が揚重機に一番負荷が掛かる為、当地作業環境では杭抜機とクローラークレーン能力を超える荷重が懸念されたので超高周波バイブロにて引抜き（地切り）を行い、地上面まで引き上げてから



はガス器具を用いて杭に角状の穴をあけてから角状の鋼棒を差し込み受けることで確実に杭を地下へ落下させない方法を実施しました。次孔からは杭抜機にて三二ｍの長尺な杭を一〇ｍ単位でガス切断と引抜きを繰り返すことで完全に引抜き撤去しました。杭ピッチ間は二ｍ程度であり、一本抜／セットエリアと二本抜／セットがありましたが、ケーシングの径を変更して対処しました。



二本抜エリアでは杭とケーシングが地中で衝突し合い削孔中断せざるをえない状況にもなりましたが、所長様・協力会社様と協議を繰り返し、施工していくことで難関な杭の削孔も出来て完全に引き抜くことができました。また、第一～三期工事に掛けて無事故・無災害にて工事を完了する事が出来ましたのは日頃から安全対策と近隣配慮をして頂いた協力会社様の取り組みによるものだと思います。



元請会社様には、狭隘地で工程管理が難しい中での調整と、作業環境に対してもご配慮して頂き、誠にありがとうございました。

東京支店　開発部
課長　本間　亮一

声援

寒中お見舞い申し上げます。新年を迎えて一カ月が過ぎようとしていますが、皆様どの様なお正月を過ごされましたでしょうか。新たな年を迎え、今年一年の目標を立てられ、気持ちも新たに充実したお正月を過ごされたことと思います。私は目標を立てる時に、三個の目標を立てます。一つは普段通りの作業で達成できると思われる目標・二つ目は少し努力しなければ達成出来ない目標・三つ目は、努力しないと達成出来ない目標です。

ひとつずつ目標を達成して行くことでやる気が出てプラスαの力が、出るそうです。仕事もそうだと思います。一つ一つ業務をこなしていくことで、仕事に対してのスキルが上がり、思わぬ事態に直面しても、柔軟に対処できるようになります。失敗が経験になり次に繋がる糧となります。失敗は、成功の前段取りとして考えていけるようになりたいと思います。

阪神・淡路大震災から二四年が経ちますが、私が当時二〇才の時の出来事です。地震があった時の揺れで気分が悪くなり、船酔いしたかのような揺れでした。外に出て地震の凄さを目の当りにしました。至る所で、ガス・水道が破裂し道路から噴き出していました。車で五キロの移動に四時間もかかり、水・電気が無い生活が一か月弱も続きました。近所の方と協力しながら一カ月を過ごした記憶があります。震災の年から神戸ルミナリエが始まり今は、観光イベントの様な形ですが、ルミナリエは、阪神・淡路大震災の鎮魂と復興を願う光の祭典です。時が経つにつれ阪神・淡路大震災の記憶が薄れていくのが現状ですが、いつ起こるか分らない地震・災害に対策をしていかなければなりません。ライフラインの強化や地面より下の見えない部分の強化。私たちの営業工種は、地震災害に対して有効な工種であり疎かにすることの出来ない仕事なので、大阪支店一同、力を合わせていきますのでご協力お願いします。

最後になりますが、今まで以上に安心、信頼され、協力会社の方々からは、一緒に働いて良かったと言われる様な会社作りを目指し、二〇二〇年完工一五〇億を目指して頑張って参りますので、ご指導・ご鞭撻の程宜しくお願い致します。

これから、ますます寒くなりますので、皆様方風邪などひかれないよう体調管理には十分注意してお過ごし下さい。

大阪支店　山陽営業所
所長　松谷　嘉一

共生共遊

・子や孫と　年賀寿
　く幸の春
・しめ縄に　年賀の
　友は　迎えられ
・屠蘇に酔い　語り
　し楽し　春の宴
・あっという間にお
　正月休みが終わり五
二期締め月に入りました。終わりよければ全て良し。悔いなく働き五二期首を迎えましょう。

・前年の世相を表す漢字一文字は災でした。災い転じて福となすとして迎えた希望の二〇一九年早々に熊本で震度6が発生。いかなる準備をしても物は壊れるし、どれだけ訓練しても人はミスをする。大事なのは事故は起こると想定し、備える事と宇宙飛行士の大西卓哉氏は語っていました。備えあれば憂いなし。全ての面で備えをしましょう。

・いくら立派で頑丈な構造物でも基礎が脆ければ崩壊します。基礎工事のプロとして使命感を持って社業を天職、聖業と心得て職務に励みたいものです。

・一月で期末ですが、残念ながら完工は目標に届かない見通しです。しかし、利益率は前期並みに納まりそうです。社員、協力会社様の頑張りとお客様の厚いご配慮と心より感謝しています。収益を上げ納税に努めるのは企業の責任です。この先も責任を果たさなければと健全で良質な会社を築くと、職業人としての使命を果たしていきましょう。

・基礎工事は実験工学と言われます。格言に寄る年波に勝てずとあります。寄せては返す波のように継続は力です。創業以来数々の経験を積んでまいりました。予定通り、思い通りに進まなかった現場もありました。この反省と経験が太洋を磨いてきました。経験を生かし五三期二月良いスタートをしましょう。

顧問　豊住　満

営業だより

厳寒の折、皆様方におかれましては、風邪などひかれぬようお過ごしでしょうか。今年は暦の都合上、正月休暇をたっぷりと取ることが出来ました。皆様方も色々な過ごし方をなさり充実した休暇が取れたことと思います。年頭にあたり目標を掲げ祈願いたしましたが、本年も太洋グループ一丸となって頑張ってまいりましょう。

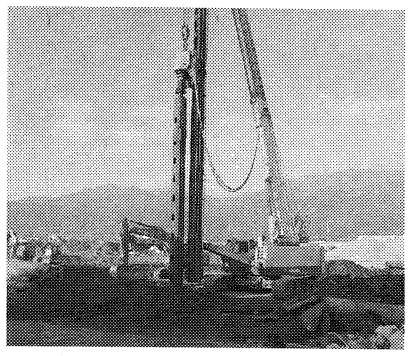
さて五二期も残すところ数日となり各店所・各部署では、数字も概ね確定し、目標に対して達成・未達成と結果が見えてきたと思われます。無事目標達成出来た部署においては今期の結果をもとに五三期は更なる高い目標に向かって大きく躍進を遂げましょう。また残念ながら目標達成に届かなかった部署は力強い奮起と頑張りをもって挑み続けましょう。『完工一五〇億』へ向けての中間地点でもある五三期においての目標達成なしにして完工一五〇億達成はありません。皆の力を集結し必ずや成し遂げましょう。

静岡支店の今期活動状況ですが小さな勢力、小さな市場でありますが目標達成に向けて奮闘してまいりました。五二期当支店の工事受注の特徴としては公共事業受注と民間工事受注の割合が大きく変わってきました。工事部完工高四〇%、開発部完工高八五%、支店合計の六五%が民間工事、公益企業物件となりました。公共事業発注物件の様変わりによる従来主力工種の受注減、前期、前々期からの積極的な民間事業への営業活動によるものであるかと思います。五二期に於きましては大型重機による地盤改良工事、工場設備新築、増床に伴う薬液注入工事、柱状改良工事、水替え工事、大規模解体工事での杭抜き工事などの受注施工に至りました。まさに小さな物件からコツコツとこなしてきた結果だと思うところです。

『信用を築き信頼を得る』

静岡支店には営業部がなく専属の営業部員がいません。私と開発部長を筆頭に機動力、技術力をセールスポイントとして営業受注活動を展開しています。現場施工が一番の営業であり工事担当者が最前線の営業マンであるというモットーにて取り組んでおります。頂いた物件全てにおいて良質施工を心掛け信用を積み重ね、顧客よりの要望、相談、難題等に対応することにより信頼を得る。よって次回施工も任せていただく。これが最良の営業施策ではないかと思い日夜励んでおります。

五三期を迎えますが、静岡支店エリアは今期以上に厳しい状況だと思われます。しかしながら当社は数々の工種・工法を持っております。今持っている力を発揮し、また新たな力を手に入れ、市場・発注物件の変化にも対応し目標達成に向かって全員で取り組んで参ります。



静岡支店
副支店長　國丸　和義

事業所だより

新年あけましておめでとうございます。年が明け一月は暖冬で幾分過ごし易い日中だなと感じました。今回九連休の正月休みを初めて頂き、普段コミュケーション不足の家族との団欒も取れ心身ともに休息を養うことができました。皆様に於かれましては如何お過ごしでしたでしょうか。

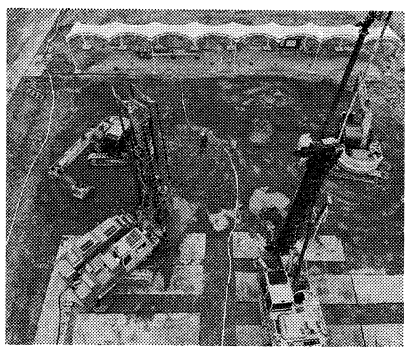
新元号の発表される平成最後の年の四月には昭和生まれの私は三時代を股にかけたおじさんとなってしまい昭和世代の方はお分かりかと思いますが、昔で言う明治時代に生まれの方と同じような時代の移り変わりとなり、随分歳を取ってしまったような感じがしてなりません、新年早々新時代の幕開けを挑む年になるよう一新した気持ちで臨みたいです。

名古屋支店開発部は建築・土木構造物下等の基礎地盤補強工事を主力営業とする部署です。その中でも専売特許の機械式深層混合処理工法は構造物に支持機能を持たせる改良地盤の形成として利用される他に、今後約三〇年以内に巨大地震(南海トラフ地震等)の発生確率が七〇～八〇%に引き上げられた報道もあり、地震における液状化抑止対策に併用される対策工法としても関心が高くなっており、我々も今以上に施工技術の向上を目指し猛進する次第です。

東海地域では名駅・栄地区の再開発整備により様々な建設需要が好調で更に一〇月から始まる消費税増税に伴う駆込み需要は平成二五年に八%になった時に比べると持家は前年並みで賃貸住宅は平成二七年以降から順調に推移し、分譲住宅も上回る勢いとなるようです。これからが正念場です。取りこぼしの無いよう工程管理・施工管理を進め、直面する労働人員不足には職員、協力会社一同一丸となり取り組んでいかなければならないと思っております。

現在新工法の開発を大手ハウスメーカー様と共同で行い最終段階になりました。詳細はまだ発表できませんが当社職員一同は準備願います。

最後にこれから冬本番になり外仕事の我々にはきつい時期となります風邪などをひかないよう体調管理には気を付けてお過ごし下さい。『ご安全に！』



名古屋支店　開発部
課長　服部　堅志

ひとり言

・日々、月々、年々心新たなり。こんな思いで七九歳七〇年代最後の年を迎えました。

・三四歳大病を患いよく持って余命一、二年かと主治医に告げられ以降、社業、社会奉仕に神仏に与えられし命と心得励んでまいりました。

・時代も新元号に。平成最後の時代を迎えています。昭和、平成と世相は目まぐるしく変わってまいりました。さて新時代の日本はどうなるのでしょう。

・グローバル化はどんどん進むでしょう。AI時代もどんどん進むでしょう。政治、教育、科学、中でも医療分野の進歩で高齢化社会が進めば進むほど介護等で人手がかかり、人手不足がさらに進むでしょう。さてその様な世相の中建設業界はどう変わっていくのでしょうか。国交省は週休二日制を実施すると言っています。当然工事費は跳ね上がります。社会福祉費の増加が止まらない中で予算的に公共投資増加は望めるのか気になるところです。

太洋としては

・社員のモチベーションを上げて健康で快適な職場づくり。

・賢い設備投資による安全で効率化作業によるコスト競争力の強化。

・独自技術開発に励み他社との差別化による競争力強化。

少なくてもこの三点は待ったなしと進めなければならないでしょう。暗闇の中に光あり闇が深いほど暁は近いと言います。我らはチャレンジの中に光ありと社業に励みましょう。

・お気に入りの絵を居間に飾っています。二〇年以上前になりますが、尊敬していた大先輩のご遺族様から種々の遺品の中から豊住様には一番先に何か形見として納めて下さると故人もきっと喜ぶことでしょうと申し出を受け、迷わず頂いてきたのが居間の絵でした。ロレックスの時計とかご愛用されていたモンブランの万年筆等選ぶと思われていたようで、そんな絵で本当に良いのですかと念を押さた絵ですが、日々眺めながら大先輩を思い出したりなぐさめられたり、経歴不明の作者の絵ですが、充分励まされています。きっと心込めて描かれたのであろうと無機質な一幅の絵に心こそ大切なりと教えられています。

・人として生まれ命限りあり心の中に客殿を作ろう。慈愛と赤誠という生き方を説いた書を読みましたが、一枚の絵でさえ人をなぐさめたり和ましたり出来る我らは信頼し合える仲の良い健康で安全、快適職場づくりこそ働き方改革と心定めたいものです。

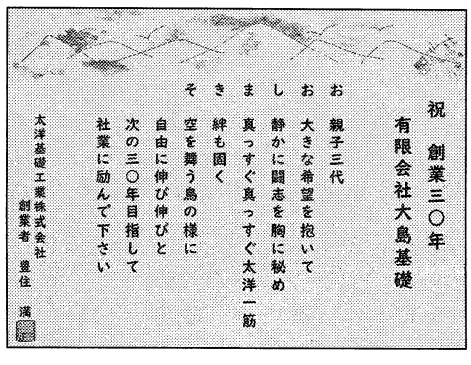
顧問　豊住　満

自分詩紹介

・太洋と親子の縁が三代続く㈲大島基礎様、祝三〇年を迎えられ、記念に創業者が設立しましたNPO法人沙漠緑化ナゴヤが活動資金集めに行っています世界にひとつしかないマイポエムのご注文を賜りました。大島社長のご了解を得て詩の紹介と自分詩のPRを兼ねて紹介させていただきました。

・当会では父の日、母の日、結婚祝い、入学祝、会社創立記念、また病気見舞いとお洒落な記念品としてご購入頂いています。会としても創作委員会を作ってご注文に備えています。A4サイズ額縁付きで一枚二千円。送料は含んでいません。社会奉仕にもなります。是非ご注文賜ります様、お願い申し上げます。

【申込先】
TEL
〇五六七-二五-一三七三
FAX
〇五六七-二五-一五八〇
NPO法人砂漠緑化ナゴヤ
事務局　木下絵理



共済会だより

☆新しい仲間

一月七日
繪　絵利子
東京支店　工事部

☆お疲れ様でした

一二月二八日
森野　友揮
九州支店　工事部

一二月三一日
佐々木　四子男
名古屋支店　建築部
大島　恵介
東京支店　工事部
永井　匡
大阪支店　開発部